

令和 2年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名：水辺再生課
 担当名：河川維持担当
 内線：5114

(単位：千円)

番号	事業名		会計	款	項	目	説明事業	
B33	河川改修費（水辺）		一般会計	土木費	河川費	河川改良費	河川改修費	
事業期間	平成28年度～	根拠法令	河川法第9条、河川法第15条の2		宣言項目	03 大地震など危機への備えの強化		
					分野施策	020518 治水・治山対策の推進		
1 事業概要			5 事業説明					
(1) 近年の大規模出水により県民の水害への関心が高まっている。また、護岸の損傷や河床洗掘などは、急な大雨により河川の越水、破堤等を招き、沿川や流域に住む県民・財産に多大な被害が及ぶ恐れがある。そのため、浸水実績などを踏まえ、優先度の高い箇所について重点的に河川管理施設の機能復旧を実施する。 (1) 河川改修費（水辺）事務費の節減による減額 △1,012千円 (2) 大場川マリナーナ施設関連事業費確定による減額 △1,438千円			(1) 事業内容 ア 河川管理施設の機能復旧 1,052,800千円 護岸の損傷等について、法面保護等による機能復旧の実施 河床洗掘により倒壊する恐れのある護岸について、根固め等による機能復旧の実施 イ 河道内堆積土砂の撤去 30,000千円 浸水実績のある箇所またはその近傍に堆積している土砂の撤去 川幅に比べて堆積している土砂が極めて多い箇所の土砂の撤去 ウ 河道内樹木の伐採 30,165千円 浸水実績のある箇所またはその近傍に繁茂している樹木の伐採 川幅に比べて繁茂している樹木が極めて多い箇所の樹木の伐採 エ 大場川マリナーナ施設関連 360,394千円 土地・建物の賃貸借契約の終了等による取得 (2) 事業計画 ア 損傷した護岸や法面保護などの機能復旧を行う。 イ 浸水実績のある箇所やその近傍の土砂が堆積している箇所、堆積土砂が極めて多い河道について撤去を行う。 ウ 浸水実績のある箇所やその近傍の樹木が繁茂している箇所、繁茂している樹木が極めて多い箇所について伐採を行う。 エ 大場川マリナーナの管理棟、駐車場等を取得する。 (3) 事業効果 ア 護岸等の損傷箇所を復旧することで、河川管理施設全体の安全度が向上する。 イウ 河道空間が良好に保たれることで、治水安全度の向上を図るとともに県民の安心安全を確保する。 エ (一財) 埼玉県河川公社の安定的な経営を実現できる。 (4) 補正予算の概要 ア 事務費の節減及び大場川マリナーナ施設関連の事業費確定による減額補正					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)								
3 地方財政措置の状況 県単独河川改修事業債 充当率 90%								
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 (1) 事業に係る人件費 9,500千円×2.0人=19,000千円 (2) 組織の新設、改廃及び増員 なし								
予算額		財 源 内 訳					一般財源	補正後の 予算額
決定額	△2,450	県 債					△450	1,470,909
現計額	1,473,359						64,359	